

第47回高エネルギー加速器研究機構経営協議会議事要録

日 時 平成27年12月21日（月）10時30分～12時55分

場 所 KKRホテル東京11階「朱鷺の間」

出席者 岡田（泰）、金山、小出、児玉、佐久間、住吉、武田、西島、羽入、山内、野村、
岡田（安）、神谷、竹内、徳宿、山田、山口、佐々木、齊藤 各委員
（欠席者 合田、小谷 各委員）

陪席者 岩崎監事、磯部監事、徳田総務部長、池田研究協力部長、南保施設部長、
宮本参事役、小林総務課長、野竹人事労務課長、柴沼企画課長、林主計課長、
阿久津研究協力課長、関施設企画課長

配付資料

1. 第45回高エネルギー加速器研究機構経営協議会議事要録
2. 第46回高エネルギー加速器研究機構経営協議会議事要録
3. 職員給与規程等の一部改正について
4. 第三期中期目標原案・中期計画案について
5. 平成26年度業務実績に関する評価結果（概要）
6. 人件費管理方針について
7. 個人情報記録された外部記憶装置紛失事案について
8. J-PARC MLF の中性子標的問題

議事に先立ち、山内議長から開会の挨拶があった。また、事務局から配付資料の確認があった。

議 事

1. 議事要録

山内議長から、資料1の第45回議事要録及び資料2の第46回議事要録（書面審議）について、既に電子メールにて確認いただいているので説明は省略する旨の説明があった。

2. 審議事項

（1）職員給与規程等の一部改正について

竹内委員から、資料3に基づき、職員給与規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、実施時期については職員組合との協議を踏まえて決定することとし、改正内容に

については了承された。

(2) 第三期中期目標原案・中期計画案について

野村委員から、資料4に基づき、第三期中期目標原案・中期計画案について説明があり、審議の結果、了承された。なお、資料62ページの中期目標の期間が「平成23年4月～33年3月」とあるが正しくは「平成28年4月～34年3月」である旨の訂正があった。また、山内議長から今後の予定として、1月15日が文科省への提出締切日となっているので、頂いたご意見を反映させていきたいとの発言があった。

<主な質疑応答>

- ・分野を超えた連携の推進とは、具体的にどういう分野を考えているのか。
 - KEK は取り扱っている分野が広いため、特に特定の分野を想定しているものではないが、素粒子物理学のために開発された粒子の測定器は、物性研究のみならず、医療分野、産業分野にも役立つもの。そういった応用は積極的に進めていきたい。
- ・総研大との更なる一体的な関係について、どのような対応を考えているのか。また、女性の管理職等の増加について具体的な方策はあるのか。
 - 4機構の連携をさらに深め、総研大との関係の幅を広げていきたい。また、女性職員の増加について、女性活躍推進法が制定されたことに伴い、現在の課題と対策として何ができるかを検討していきたい。
- ・総研大との関係強化に関して、4機構でどのように対応するかについて、話し合いは行われたのか。又は、これから行う予定か。
 - 4機構間での意見交換は進めているが、それぞれの機構の特徴があるため、KEK が示したもの（表記内容）と同一とは限らない。
- ・大学では自己資金をいかに増やすかが問われるが、KEK ではどうか。
 - KEK には授業料収入も病院収入もない。主なものは、放射光や中性子施設等の利用料収入であり、大きな収入を得るのが難しい状況である。
- ・達成指標の明確化として、数値化した目標をもっと増やさないのか。
 - 研究面でいうと、主要な研究施設である加速器の運転経費は特別運営費交付金や補助金であるため、予算配分額に非常に左右される。確保できる運転時間数が読めないため、研究面での指標が示しにくい状況である。数字として示せるものは示していきたい。
- ・産業界との連携として、産業利用を高めていくための具体的な工夫はあるか。
 - KEK は大学共同利用機関法人であるため、メインは大学共同利用である。附帯業務として産業界との連携がある。国から産業利用に係る予算を受けていないが、PF や J-PARC の MLF を中心に産業利用を進めている。
- ・広報は何名くらいのスタッフで行われているのか。今後の広報体制をどう築き上げていくかのビジョンはあるか。また国際広報についてはどうお考えか。
 - 人数は数名で、ほとんどが任期付き雇用の者である。まだ検討中ではあるが有能

な人材は任期満了後も引き続き残ってもらうための人事を考えていきたい。また、国際広報については、人員不足のため十分に手が回っていない面はあるが、重要であると認識している。

2. 報告事項

(1) 平成 26 年度業務実績に関する評価結果について

野村委員から、資料 5 に基づき、平成 26 年度業務実績に関する評価結果について説明があった。

<主な質疑概要>

- ・ KEK でも自己評価も行っていたと思うが、実際の評価結果と乖離はあったか。
→ 報告書提出前に自己評価をしており、乖離はなかった。
- ・ KEK キャラバンの実施数は増えているか、また、いつから始まったものなのか。
→ 実施数は横ばいである。先方の要請に基づいて派遣するものであり、年間 60 件ほど。また、この取り組みには長い歴史がある。最近力を入れているのは、生徒対象だけでなく、教師対象も含めている。学校の教師に経験いただいたことを生徒に還元してもらい普及を進めたい。

(2) 人件費管理方針について

山内議長から、資料 6 に基づき、平成 28 年度の人件費管理方針について説明があった。委員からの意見として、ただ人件費を減らすだけではなく、KEK の苦しい財政状況をもっと外部に発信し、予算を増額できる手段を講じるべき、それを担うのが広報ではないか。安全や広報の専門職を新たに増員するのであれば、キャリアパスが描けるような仕組みが必要ではないかといった意見があった。

(3) 個人情報記録された外部記憶装置紛失事案について

野村委員から、資料 7 に基づき、個人情報記録された外部記憶装置紛失事案について説明があった。

(4) J-PARC 物質・生命科学実験施設のトラブルについて

齊藤委員から、資料 8 に基づき、J-PARC 物質・生命科学実験施設のトラブルについて説明があった。

(5) 平成 28 年度概算要求の状況について

竹内委員から、平成 28 年度概算要求の状況について説明があった。現時点ではまだ決まっていはいないが、来年度も厳しい状況になるという話は聞いている。次回の会議で説明したい。

3. 自由討論

広報についての意見交換がなされ、山内議長から、各機関との連携はこれまで研究活動が中心であったが、広報の連携についても可能なのかを最近考えており、いずれ提言していきたいとの発言があった。

4. その他

次回経営協議会は、3月23日（水）10：30から同会場で開催する予定であるとの発言があった。